### 令和3年度

## 第4回 小浜市水道料金等制度審議会

【水道事業 資料】

日時 令和3年12月23日(木) 午後7時~

場所 小浜市役所 4階 大会議室

## 目 次

水道事	業の収支予	列について	 	 	1
1.	収支予測		 	 	1
	水道事業会	会計の見込み	 	 	3
	収支計画		 	 	4
2.	経営状況		 	 	6

## 水道事業の収支予測について

- 1. 収支予測(小浜市水道事業経営戦略)
  - (1) 水道使用料収入の考え方
    - 1)人口予測
      - ・小浜市人口ビジョンの人口変動を基に、上水道の給水区域内人口 に将来給水普及率を乗じて算出

### 2) 水需要の予測

- ・一般的な家庭で使用する「生活用水量」と会社や学校などが使用する「業務用水量」に区分して算出した。「生活用水量」は、給水人口と「1人あたりの使用水量」から算出し、給水人口と同様に減少すると見込んだ
- ・「業務用水量」についても、実績値が減少傾向にあり、今後も同様 に減少すると見込んだ
- ・上記のことから全体的に見ても、今後の水需要は減少傾向になる と見込んでいる

### 3)料金収入の見通し

・給水人口と給水量の減少に比例して、料金収入も減少すると見込 んだ

### (2) 投資・財政計画の考え方

- 1)投資について
  - ・水道施設の適正な維持管理に努めながら、施設の更新、耐震化を 進める
  - ・主な財源は、料金および企業債

### 【主な事業】

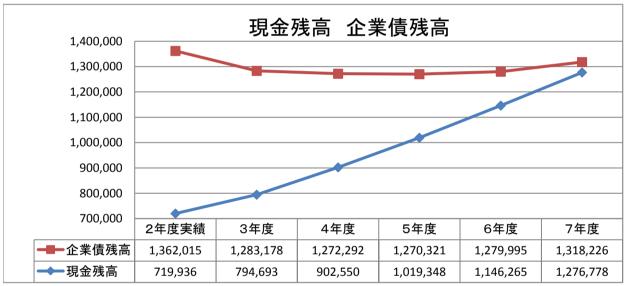
- ・西津橋・大手橋架け替えに伴う布設替え 2,500 万円/年
- ・簡易水道の上水道統合整備(令和4年度~)7,500万円/年
- ・水道施設更新計画に伴う施設更新・耐震化 未反映

### 2) 財源について

- ・水道施設の機能を維持するための更新や修繕などに必要とする財 源を確保し、収支の均衡に努める
- ・将来の施設更新や災害発生等の費用に備え、令和元年度の資金残 高以上を維持する
- ・企業債については、建設改良費の主な財源として借り入れを継続 することにより、現金支出を抑制し、資金残高を確保する

## 水道事業会計の見込み





単位:千円

区分	内容	2年度実績	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度
	収入	401,682	403,991	402,609	401,226	399,903	398,618
収入分	給水収益	378,753	375,098	373,935	372,776	371,620	370,468
43.人力	他会計負担金	16,416	13,955	13,735	13,512	13,344	13,212
	その他	6,513	14,938	14,939	14,938	14,939	14,938
	支出	356,765	329,234	294,752	284,428	272,986	268,105
	人件費	22,086	20,416	20,416	20,416	20,416	20,416
	動力費	29,981	31,284	31,284	31,284	31,284	31,284
支出分	修繕費	19,269	15,642	15,642	15,642	15,642	15,642
	委託料	29,472	28,839	28,539	28,539	28,839	28,539
	建設改良費補填	208,108	185,841	154,446	146,118	135,734	132,044
	その他	47,849	47,212	44,425	42,429	41,071	40,180
単年月	<b></b>	44,917	74,757	107,857	116,798	126,917	130,513
瑪	金残高	719,936	794,693	902,550	1,019,348	1,146,265	1,276,778
企	業債残高	1,362,015	1,283,178	1,272,292	1,270,321	1,279,995	1,318,226

# 収支計画(上水)収益的収支

収益的収支実績	27年度 H28年度 H30年度 R1年度 R2年度(実績) R3年度 R4年度 R5年度 R6年度 R7年度	402,178 401,414 401,450 398,307 397,055 395,971 394,808 393,649	377,434 378,753 375,098 373,935 372,776 371,620	14,457 13,028 15,007 13,042 13,582 11,547 11,547 11,547 11,547 11,547		11,364 14,457 13,028 15,007 13,042 13,582 11,547 11,547 11,547 11,547 11,547 11,547	6,782 6,122 8,164 10,622 7,831 4,720 9,326 9,326 9,326 9,326 9,326	75,225 78,497 77,433 75,636 101,446 100,161 99,240 96,285 95,342 8	2,890 2,899 3,080 2,813 2,834 2,408 2,188 1,965 1,797	2,890 2,899 3,080 2,813 2,834		70,753 69,156 67,211 96,819 92,140 91,439 88,707 87,932 8	1,925 4,845 5,197 5,612 1,793 5,613 5,613 5,613	477,403 478,981 473,943 498,501 496,131 494,048 489,933 487,835	335,970 345,492 336,636 326,017	17,611 18,216 18,866 20,708	10,858 9,344 9,695 9,920 11,028 11,899 11,268 11,268 11,268 11,268 11,268 11,268		8,267 8,521 8,946 9,680 10,187 9,148	96,018 103,271 108,146 96,338 82,267 79,135 78,835 78,835 79,135	32,592 30,683 41,128 28,539 29,472 28,839 28,539 28,539 28,839	29,102 31,284 29,981 31,284 31,284 31,284 31,284	16,049	776 1,091 1,382 633 808 633 633 633	29,247 17,156 17,361 17,046 20,240 2,737 2,737 2,737 2,737 2,737 2,737 2,737 2,737		222,090 208,078 205,795 247,791 244,435 240,998 237,459 232,961 22	2,546 1,915 1,546 1,082 1,351 2,600 2,600 2,600 2,600	0 0 0 2,094 17,362 19,398 19,398 19,398 19,398	40,948  40,532  35,356  30,687  26,942  24,444  21,657  19,661  18,303	43,941 40,309 37,311 33,484 30,067 26,610 23,824 21,037 19,041 17,683 16,792		639 3,221 1,872 620 332 620 620 620 620	386,024 371,992 356,704 397,799 390,428 383,904 378,369 372,813					75,054 100,485 93,887 106,891 117,239 100,702 105,703 110,143 111,564 115,022 117,301	1,088,914 969 101,453 195,340 302,231 402,933 508,636 618,779 730,343 845,364 962,665	
	H27年度 H28年度	402	381	14	0	14	9	75	2	2		20	1	477	332	17	6	0							17		219	2		40	40			376	100				100	1,088,914 969	
	4 度 H	1. 如 業 坂 柑 (A)	10 (1) 料 金 収 入	(2)	うち基準内繰入	ち基準外繰入	6	道 業 外 収		基準内	基準外繰入	(2) 長期前受金原	5	(C) #		給	*	退職手	ح ص ع	(2) 経	託	動力	希	材料費	<u>4</u>	<b>闵</b>	(4) 減 価 償 却	資 産 減 耗	そ の	業外	払利	(2) 繰 延 勘 定 償	D	支 出 計	)	利	別損	(H) (E)-(G)	度 純 利 益 ( 又 は 純 損 失 ) (E)+(H)	積 欠 損 金 (1)	

## 収支計画(上水) 資本的収支

				資本的収支実績	支実績				,, <u>,,,,,</u>	資本的収支見込		
	年 度区 分	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度(実績)	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
	1. 企業 養	0	28,400	26,000	42,000	52,600	66,400	68,200	125,000	125,000	125,000	150,000
Ķ	うち資本費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	2. 他 会 計 出	33,663	35,874	32,082	39,487	29,961	2,668	0	0	0	0	0
氫	3. 他 会 計 補 助 金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
₩	7 4. 他 会 計 負 担 金	12,938	15,546	13,322	15,775	14,611	25,835	12,224	12,001	11,413	10,152	10,285
	会 計 借	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
<del> </del> ₩	6. 国(都道府県)補助	168,304	179,367	160,414	197,431	144,793	13,340	0	0	0	0	0
	7. 固定資産売却代	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
- !	8. 工 事							1,500	1,500	1,500	1,500	1,500
<b></b>	9. <del>2</del> 0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
名	(A) = ==================================	214,905	259,187	231,818	294,693	241,965	108,243	81,924	138,501	137,913	136,652	161,785
~	(A)のうち翌年度へ繰り越さ れる支出の財源充当額 (B)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
į	統計 (A)-(B) (C)	214,905	259,187	231,818	294,693	241,965	108,243	81,924	138,501	137,913	136,652	161,785
女	1. 建 設	277,436	305,789	288,455	393,183	284,747	143,756	120,728	157,060	157,060	157,060	182,060
( -		22,643	22,648	23,723	23,723	21,366	23,319	23,760	23,760	23,760	23,760	23,760
₩	2. 企業債價運金	145,087	143,880	144,224	145,392	144,222	172,595	147,037	135,886	126,971	115,326	111,769
女的	5 3. 他会計長期借入返還金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
₩	4. 他会計への支出	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
3	5. そ		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
E	(D)	422,523	449,669	432,679	538,575	428,969	316,351	267,765	292,946	284,031	272,386	293,829
資本的ルイアにする	資本的収入額が資本的支出額に 不足する額 (D)-(C)	207,618	190,482	200,861	243,882	187,004	208,108	185,841	154,446	146,118	135,734	132,045
華	1. 損 益 勘 定 留 保 資 金	204,147	185,869	196,074	234,826	180,367	197,692	177,026	142,327	134,000	123,616	117,654
۲	2. 利益剩余金処分額	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
, ,	立金取りくずし	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
2 ±	繰 越 工 事 資	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
E H	9	3,471	4,613	4,787	9;056	6,637	10,416	8,815	12,118	12,118	12,118	14,391
监	<del>-</del>	207,618	190,482	200,861	243,882	187,004	208,108	185,841	154,446	146,118	135,734	132,045
<del>1</del> 000	ん財源不足額	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
和	計借入金残	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	投資目	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
長滑	した一時借入	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
乨	債 残	1,872,989	1,757,509	1,639,285	1,535,893	1,444,271	1,362,015	1,283,178	1,272,292	1,270,321	1,279,995	1,318,226
標		36,872	36,872	36,872	36,872	36,872	36,872	36,872	36,872	36,872	36,872	36,872
	ち 減 債 積 立	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	現金増減	△ 207,618	△ 190,482	△ 200,861	△ 243,882	△ 187,004	△ 208,108	△ 185,841	△ 154,446	△ 146,118	△ 135,734	△ 132,045
	3条現金	1	I	Ι	1	I	253,025	260,598	262,303	262,916	262,651	262,557
	3条4条現金収支	I	I	I	I	Ι	44,917	74,757	107,857	116,798	126,917	130,513
	上水事業現金収支	477,725	552.645	544.050	617.398	675.019	719.936	794.693	902.550	1.019.348	1.146.265	1.276.778
							Tanala.	land of	- calman	and and		and and

### 2. 経営状況

### 懸案事項

1. どれだけ現金預金があれば経営的に大丈夫といえるか

### 現状確認

1. 現金残高の指標となるものがないため、明確に金額を示すことは不可能です。

そこで、独自の考えとして、1年間の総支出額と建設改良費を確保して おきたいと考えています。

### 【考え方】

これは、近年、各地で発生する災害を考慮し、ある程度の蓄えが必要と感じており、仮に災害等により1年間収入がなくなった場合でも、ライフラインである水道を各使用者様にお届けできるだけの「運転資金」と復旧のための「建設改良費」を現金で確保しておきたいとの考えからです。

### 【算出方法】

現時点で現金で確保しておきたい金額は、1年間の総支出額から減価 償却費等の非現金科目を除いた、見込み額平均で約4億2千万円と、同 じく平均で算出した復旧のための建設改良費約1億3千万円を上乗せし た、「約5億5千万円」と考えます。

下表は P3 の収支計画を抜粋したもので、「水道施設更新計画」は未反映ですが、現金で確保できる見込みとなっています。

(千円)

	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度
現金収支	74,757	107,857	116,798	126,917	130,513
現金残高	794,693	902,550	1,019,348	1,146,265	1,276,778

なお、「1年間」の根拠はなく、また「復旧のための建設改良費1億3千万円」も今後の見込み値の平均であるため、災害時の復旧費としては妥当とは言い切れず、あくまでも目安としたものです。

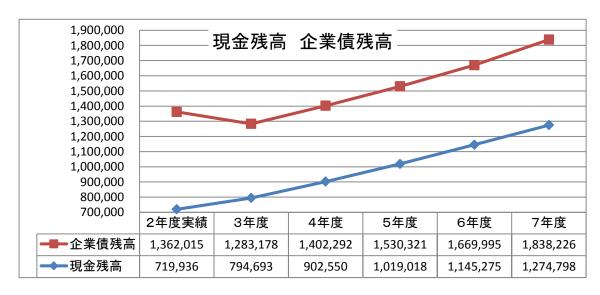
### 懸案事項

2. 収支計画の算定について、現在策定中の「水道施設更新計画」は未反映。策定後には建設改良費は増額となるのか。それでも経営は大丈夫か?

### シミュレーション

2. 計画策定後には、建設改良費が増加することになります。ただし、「水道施設 更新計画」は、老朽化する基幹管路について、病院等の重要施設への管路等、 優先順位を定め計画的な耐震化・更新計画を策定するものです。このため、緊 急かつ大規模な建設改良費は想定しておらず、**更新計画を反映しても急激に建** 設改良費が増加し、赤字に急転することはないと考えます。

なお、経営戦略では今後の建設改良費を年間約1億3千万円見込んでおり、 更新費用を同額程度かかると<u>仮定して</u>も、経営戦略では企業債を継続して借り 入れることで現金支出を抑制し、現金残高を確保していく考えです。ただ、現金 残高とともに企業債残高も増額することになります。



なお、この場合の現金で確保しておきたい金額は、1で見込んだ約5億5千万円に1億3千万円を加えた「約6億8千万円」とします。

【仮定】建設改良費に年間1億3千万円を追加(企業債対応)した場合

(千円)

	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度
建設改良費	96,968	263,300	263,300	263,300	288,300
支払利息	23,824	21,037	19,371	18,343	17,782
現金収支	74,757	107,857	116,468	126,257	129,523
現金残高	794,693	902,550	1,019,018	1,145,275	1,274,798
企業債残高	1,283,178	1,402,292	1,530,321	1,669,995	1,838,226

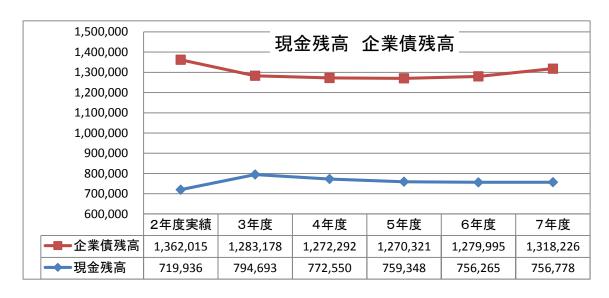
### 懸案事項

3. 企業債を抑えた経営について 現金残高の確保に伴い、企業債の増加も見込まれるが、企業債を抑えることは 可能か?

### シミュレーション

3. シミュレーション2では、仮定した施設更新費を経営戦略に沿って全額企業債を財源としましたが、今回は仮定した施設更新分の建設改良費(1億3千万円)を現金残高で対応したらどうなるかというものです。

建設改良費を1億3千万円増額しますが、企業債の借り入れは変更しない (計画どおりの借り入れ)場合、下のグラフのようになります。



企業債を追加で借り入れないことで企業債残高は現状を維持しつつ、現金残 高を確保しながら、施設の更新も進めることができる見込みとなります。

- ※あらかじめ収支計画にある建設改良費は、例年どおり企業債の借り入れを行う
- ※シミュレーション2同様、現金で確保しておきたい金額を「約6億8千万円」と して検証

【仮定】建設改良費に年間1億3千万円を追加(企業債借り入れなし)した場合 (千円)

	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度
建設改良費	96,968	263,300	263,300	263,300	288,300
支払利息	23,824	21,037	19,041	17,683	16,792
現金収支	74,757	△ 22,143	△ 13,202	△ 3,083	513
現金残高	794,693	772,550	759,348	756,265	756,778
企業債残高	1,283,178	1,272,292	1,270,321	1,279,995	1,318,226